おきなわ
私保連だより No.160

2026年（令和8年）10月30日

沖私保連 HP

発行所：一般社団法人 沖縄県私立保育園連盟
〒903-0804 那覇市首里石嶺町 4-373-1　Tel.098-887-1270

発行人：田仲　雄二　　編集：広報部



「イーヤーサーサー」（小川保育園）

もくじ

- 国へ向けた請願活動（予対部報告）…… 2P
- こどものつぶやき …… 2P
- 令和9年度に向けた最重点要望項目・園長交代 …… 3P
- 第38回私保連保育研究大会 …… 4・5P
- 沖縄キリスト教短期大学との連絡会 …… 6P
- 我が園の逸品 …… 7P
- おすすめ本 …… 8P
- 沖私保連の動き …… 9P
- 季節の写真（秋の風景） …… 9P
- 編集後記・広告 …… 10 ～ 12P

令和８年度（公社）全国私立保育連盟「国へ向けた署名・カンパ活動」について



予算対策部長　當間　好見

令和8年度も「国へ向けた署名・カンパ運動」にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。皆様からお寄せいただいた署名を携え、10 月 21 日国会請願活動にて保育現場の声を国政へ届けてまいります。

人口減少が加速するなか、こども家庭庁は令和6年 12 月 20 日に「保育政策の新たな方向性」を公表しました。令和7年度から令和 10 年度を見据え、これまでの待機児童対策を中心とした「保育の量の拡大」から「保育の質の確保・向上」に政策の軸を転換する方針です。

令和７年度以降、保育現場には「経営情報の見える化」「処遇改善等加算の一本化」「こども性暴力防止法」などへの新たな対応が求められています。一方、増加する事務負担に対する財源措置は十分ではありません。

保育士配置基準が今の形に改善された背景には、多くの方々のご尽力があります。日々の保育に手一杯な状況を改善するためにも、現場の実情を言葉にして、行政や社会との対話をともに重ねていきましょう。

子どものつぶやき

○「トントンとまれ!!」
(我が園では玄関の隣に3歳児保育室があるので、玄関と保育室の境界線を子どもたちに「ここで『トントンとまれ』だよ。」と知らせています)
台風9号が近づいてきた日の3歳児保育室での出来事。
「せんせーい!『トントンとまれ!!』っていってるのに、おうちがきいてくれない・・・」と困り顔のＳくん。
保育室を通り抜ける風が、段ボールのお家を玄関の方へすーっと押し流していたのです。
どうやらＳくんはお家に向かって「トントンとまれ!」と懸命に声をかけていたようです。
ダンボールに向かって声をかけている姿を想像するだけで、ほんわかしあわせな気持ちになった担任でした。

○私保連だよりに園長先生の写真が載っていたので
保育士「これ、だーれだ?」と指さしして聞いてみると・・・しばらく見て
子「おうた うたってるね〜!」と
写真をよく見ると、マイクを持っている園長先生でした（笑）
カラオケをイメージしたのかな?と思わず笑っちゃいました。



○【(3, 4歳児）ネパールの園児が急に「私はネパール大好き」
それにつられてネパール男児が「僕もネパール大好き」というと
日本の女児が「私パズルが好き」と言った。「ル」は一緒だけどなんか違うなぁ。



○(2歳児）避難訓練の時の話・・・
「おかしもち」という避難の際のお約束を伝えている時のこと。
「おさない」→「おしたらどーなる?」という保育者の問いかけに
「前の人が転んで怪我をする!!」といういつも通りの答えを待っていた私。すると隣で・・・
「悲しい気持ちになる!!」と大きな声で答えていたＡさん。素敵な返事に嬉しくなりました。

○広島に帰省するお友だちがいて、「ひこうきに乗って広島に行くんだ」と話をしているのをきいたAさん
「Aはしまうま行くよ!」と言っていました。
しまがつくものを考え出したんでしょう。かわいいなぁ〜。



○給食のりんごを食べながら「今日のりんごは少しすっぱいなぁ」というと
「みかんかけたんじゃない?」と真剣に答えるEさん。
こどもたちのこんなやりとりが本当に面白い!!予想外の答えが最高にかわいい。



令和9年度に向けた最重点要望項目
（主に少子化対策に向けた具体的提案）

一、こども未来戦略の着実な実施とこどもまんなか社会の実現に必要な安定的財源の確保

○乳幼児教育・保育・子育て支援の質・量の充実のための財源と、こどもまんなか社会の実現に必要な安定的財源について、子ども・子育て支援金以外の部分も速やかに確保を進めてください。

一、保育士等の人材確保推進および処遇の改善

○養護と教育を一体的に行っている保育士を高度な専門職として位置づけるとともに、全産業の労働者との賃金格差がなくなり、安定して長く働くことができるよう、早期に全ての保育関係職員において処遇改善がなされることを求めます。

○子どもの命と安全を守る保育の重要性を広くアピールするとともに、職業としての保育士等の魅力をさらに発信していくことが必要です。

○離島など生活が著しく不便な地域においては、保育人材確保を促進するため人事院規則の「特地勤務手当」の基準を参考とした加算の仕組みを創設してください。

○社会福祉施設職員等退職手当共済の公費助成を維持・継続するとともに、給付水準等については現状維持としてください。

一、子どもの育ちを支える保育施設の振興と地域間格差是正

○今後さらに子どもの数が減少していく情勢に鑑み、利用定員を充足していない保育施設において、その機能を維持できるよう、未充足の度合いに応じた率による乗除調整や、柔軟な定員変更など、既存の仕組みを拡充・整備してください。

一、山間部や島しょ部などの地域における保育人材確保の促進

○日本全国どこの地域においても等しく良質な保育が受けられるように、保育施設の機能を充実・維持できる仕組みの創設を求めます。

一、地域の特性によるきめ細かな経費補助と支援体制の整備

○光熱費や食材料費の高騰への対応、離島における輸送費・交通費や、豪雪地帯における除雪費など、地域の特性によって生じる経費について、実態に応じた補助となるよう、またきめ細かな支援が可能となるよう体制を整備してください。

園長交代　退任の園長先生ご苦労様でした。

～これまでの感謝と新たな歩み～



ブロック名	園　名	新園長	前園長
中部北	若　松　保　育　園	嘉　数　　知　子	赤　嶺　　裕　之
中部北	諸　聖　徒　保　育　園	金　山　　昭　夫	並　里　　輝　枝
南　部	め　だ　か　保　育　園	屋　良　　景　矢	屋　良　　景　俊
南　部	そ　ら　な　み　保　育　園	糸　数　　剛	仲　村　　好　浩

第38回（一社）沖縄県私立保育園連盟　保育研究大会

☆大会テーマ「子どもの育ちと保育園の役割」


田仲　雄二　新会長

2026年9月12日(土)、リザンシーパークホテル谷茶ベイにて一般社団法人沖縄県私立保育園連盟主催の第38回保育研究大会が開催され、405名を超える多くの参加者が参加しました。

大会の冒頭では、田仲雄二会長より、日頃の保育実践への感謝とともに、8月下旬より取り組まれている署名・カンパ活動への協力に対するお礼が述べられました。また、10 月には役員が上京し、沖縄県選出の国会議員に対して職員配置基準の引き上げをはじめとする抜本的な制度改善を直接要請することが報告されました。国の保育政策が「量の確保」から「質の向上・家庭支援」へと移行する中、地域や家庭に寄り添う保育現場の役割の重要性が強調されました。

また、20年以上にわたり組織の発展に尽力された上原東前会長へ琉球松で作られた感謝状が贈呈されました。上原前会長より「私保連は経営以上に子どもの最善の利益を最優先にする団体である」と力強いエールが送られ、参加者にとっても改めて保育の原点を確認するひとときとなりました。


上原　東　前会長






井桁　容子 先生

基調講演では、乳幼児教育研究家の井桁容子先生をお迎えし、「これからの時代に求められる保育の質とは」と題し、子どもの捉え方や保育者の眼差しについてさまざまな視点からお話しいただきました。

講演では、保育の中で「大変」「困った」と感じる場面こそ、子どもの姿を丁寧に見つめ直すことが大切であると示されました。表面的な「できた・できない」という結果だけではなく、靴下を工夫して履こうとする姿や友達を助けようとするなど、子どもが工夫して取り組む姿や友達を思いやる行動など、その過程にある気持ちや意味を捉えることが重要であり、そうした姿を保護者と共有することが、子どもへの理解や保護者支援にもつながるとのお話がありました。

また、経験を重ねる事で生まれやすい思い込みや固定概念をいったんほぐし、学び直し「アンラーン」の必要性についても触れられました。一方的に正解を伝えるのではなく、お互いの違いを認めながら対話を重ね、その中でより良い関わりを見いだしていくことが、これからの保育には求められると語られました。

さらに乳幼児が周囲の人の意図を感じ取る力を持っていることや、室内の音の反響や騒音が子どもの心理面や聴力の発達にも影響を与えることなど、日々の保育環境についても具体的な示唆がありました。カーテン等を活用して音環境を整えるなど、身近な環境を見直すことの大切さについても紹介されました。

子どもたちに必要なのは、暗記した正解を出す力ではなく、その時々の状況に応じて、自分で考えながら「最適解」を見つけていく力であること。そのためにも、子どもが安心して挑戦できる環境づくりが重要であると述べられました。

アタッチメントについては、単なるスキンシップではなく「安心できる環境があるからこそ挑戦できる」という“安心と挑戦の循環”として説明されました。また、大人との関係だけではなく、子ども同士のつながりを育てることも、社会性の形成やその後の人間関係を支えるうえで大切であることが示されました。

「真の自立とは、困ったときに『助けて』と言えること」という言葉も紹介され、子どもが必要なときに周囲を頼ることのできる関係づくりの重要性が伝えられました。

あわせて、子どもを支える保育者自身が心にゆとりを持ち、自分自身を大切にすることも、保育の質を支える大切な要素であると語られました。講演の最後には、松任谷由実さんの詩「やさしさに包まれたなら」に触れながら、保育者自身が穏やかな気持ちでいることで、子どもの行動の背景にある思いを丁寧に受け止められるのではないかとの温かなメッセージが送られました。



午後の分科会では、学術的助言者として平田美紀先生、糸洲理子先生、本岡美保子先生を迎え、各園における実践発表と意見交換が行われました。現場ならではの課題や工夫について率直な語り合いがなされ、参加者同士が学びを深める貴重な機会となりました。

今回の保育研究大会は、子どもの姿を丁寧に捉えること、対話を重ねること、安心して挑戦できる環境をつくること、そして保育者自身の心のゆとりを大切にすることなど、これからの保育を考えるうえで多くの示唆に富んだ大会となりました。

本大会で得られた学びが、それぞれの保育現場に持ち帰られ、子どもたち一人ひとりの最善の利益につながる実践として広がっていくことが期待されます。（広報部報告）







米須先生
司会お疲れ様でした



☆第 1 分科会

助言者　平田美紀先生（沖縄女子短期大学 学長）
発表園　伊波保育園「沖縄のわらべうた～わらべうたを通して表現することを楽しむ～」
　　かねぐすく保育園「みんな違ってみんないい～私たちが目指すインクルーシブ保育～」



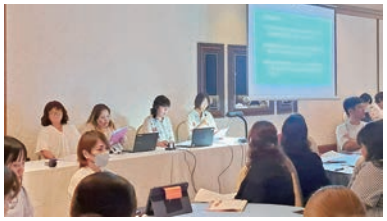






☆第 2 分科会

助言者　糸洲理子先生（沖縄キリスト教短期大学 教授）
発表園　琴の音保育園「五感を育む環境構成と援助の工夫～土山や陶芸との関わりを通して～」
　　緑ヶ丘保育園「充実した園庭遊び～砂場遊びからの一歩～」







☆第 3 分科会

助言者　本岡美保子先生（琉球大学 准教授）
発表園　てぃっず保育園「からだを動かすって楽しいな～遊びを通した体力づくり～」
　　西原保育園「子どもの楽しい食事～咀嚼について考える～」









沖縄キリスト教短期大学との「令和8年度保育者養成等に関する」連絡会

～こどもの育ちを支え、未来の保育者を共に育むために～

日時	2026 年 8 月 17 日（月）16:00 ～ 17:30	**場所**	沖縄キリスト教短期大学 会議室
出席	沖縄県私立保育園連盟 5 名 田仲会長、大城副会長、髙江洲副会長 當間研修部長、嘉陽広報部長	**大学**	保育科教員 3 名（学科長・実習担当） 平中尚子地域こども保育学科長 照屋建太教授 糸洲理子教授

1 開催趣旨

保育園と養成校が、こどもたちへの深い愛情と、保育という仕事への誇り・やりがいを改めて確かめ合い、未来を担う素敵な保育士を共に育てていくための連絡会を開催した。保育士不足や制度対応などの課題を共有しながら、学生がこどもと向き合う喜びを実感し、安心して学び成長できる実習のあり方について、率直で前向きな意見交換を行った。

2 主な協議内容

- **保育実習Ⅰ**：6月に県内 45 施設で 10 日間実施。1 日 1 時間の休憩確保により、学生が心身のゆとりを持ってこどもと関わり、学びを深められたことが確認された。実習中に発生したフィリピン地震（津波注意報発令）を受け、実際の避難対応への意識が高まった。こどもの命を守る避難行動と園の防災マニュアル確認を事前指導に組み込む。
- **保育実習Ⅱ**：11 月 4 日～ 17 日の平日 10 日間・80 時間で実施する。土曜実習は行わず、責任実習は園の状況に応じて柔軟に構成する。可能な限り連続 3 日程度を同一クラスで過ごし、一人ひとりのこどもの姿や育ちを丁寧に理解してから実践へつなげる。
- **実習日誌**：指導計画（月案・週案等）の手書き転記は廃止し、添付資料や口頭説明等を通して計画と実践のつながりを学ぶ方式へ見直す。記録を書くことだけに追われず、こどもと遊び、表情や言葉に心を寄せる時間を大切にし、保育の楽しさと専門性を実感できる実習を目指す。園から提供された計画書などは日誌の最後に「ファイル添付」という形式に改訂し、作業負担を削減しながら計画と実践の連動を学ばせる運用を行っていく予定。
- **健康・安全**：不適切な保育、虐待、ハラスメント等に関する事前指導を徹底し、こどもと学生双方の安全を守る。体調不良時は園の判断を尊重して帰宅・受診とし、大学は公欠・順延等で柔軟に対応することで、安心して学べる環境を整える。

3 合意事項・今後の対応

項目	合意・対応内容	担当
防災・安全指導	こどもの命を守る避難行動、園内マニュアル、不適切保育等の事前確認を強化する。	大学・受入園
日誌・指導計画	転記負担を減らし、こどもを見る時間と、保育の専門性を学ぶ機会をともに確保する。	大学・連盟
実習Ⅱの運用	平日10日・80時間。こども理解を軸に、責任実習とクラス配属を柔軟に調整する。	大学・受入園
体調不良時	園の判断を尊重し、公欠・順延等として、学生が安心して休める環境を守る。	大学・受入園
人材確保・定着	学生の良さを認め励ます振り返り、若年層の体験機会、卒業生支援を充実させる。処遇改善手当の早期決定・事務簡素化も行政へ要望する。	連盟・大学

連絡会を通して共有された思い：保育園と養成校は、立場は異なっても「こどもたちが大好き」という原点と、保育への誇り・やりがいを共有している。実習を学生の夢を育てる場とし、学生の良さを認め、励ましながら、こどもに寄り添える素敵な保育士を共に育てていくことを確認した。

わが園の逸品

たんぽぽ保育園

高圧洗浄機が描く、子どもたちと地域をつなぐ壁面アート

園長　嘉陽理子

当園の裏門には、高圧洗浄機を使って描かれた迫力ある壁面アートがあります。

高さ約 1.5 ～ 2 メートル、幅約 18 メートルの壁面には、全長約 6 メートルの龍をはじめ、クラス名にもなっている動物たち、シーサーやハイビスカス、たんぽぽなど、子どもたちに親しみのあるモチーフが生き生きと描かれています。

この作品を手がけてくださっているのは、当園職員のご主人です。趣味で高圧洗浄機を使ったアートに取り組まれており、始まりは 2017 年。汚れていた園内のスロープに動物たちを描いてくださったことがきっかけでした。その後、2021 年にはより大きな壁面へ、そして 2026 年 3 月には年月とともに見えにくくなった作品を新たに描き直してくださいました。

3月には新聞でも紹介され、記事を手に週末に見学へ訪れる方も増えました。壁面の前で作品を眺め、感動してくださる地域の方々の姿に、私たちも温かな気持ちになります。

子どもたちの喜ぶ顔を楽しみに、時間と労力を惜しまず描いてくださったことに心から感謝しています。高圧洗浄機で汚れを落としながら生まれるこのアートは、園を明るく彩り、今では子どもたちだけでなく地域の方々にも笑顔と感動を届けています。

温かな思いが込められたこの壁面アートは、まさに「我が園の逸品」。地域にとっても大切な宝物です。

きっかけは、年末の大掃除で高圧洗浄機を使って絵を描いて遊んでいたことでした。描く楽しさを感じ、「もっと大きな場所に描いてみたい」と思うようになりました。

その話を妻にすると、「保育園の壁が汚れているから、そこに描いてみたら?」と提案をもらい、たんぽぽ保育園の壁に描かせていただくことになりました。

園児たちに楽しんでもらえるよう、保育園の象徴である「たんぽぽ」や、各クラスにちなんだ動物たちをモチーフにしています。

色を付ける案もありましたが、時間とともに自然に消えていく儚さや、また新しく描き直せるところも、“リバースアート” ならではの魅力だと感じています。見る人それぞれが自由に想像し、楽しんでもらえたら嬉しいです。（M・O）



1番最初の作品（2017年）

製作の様子はこちらから



2回目の作品（2021年）



汚れて真っ黒の壁





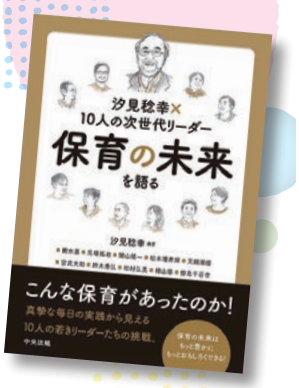


3回目の作品（2026年）

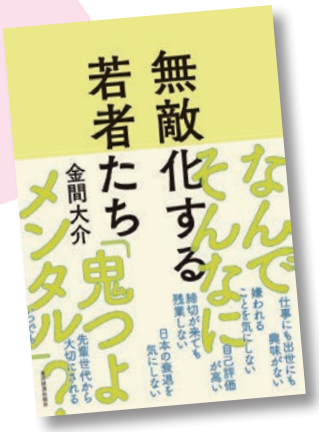
おすすめ！本 Good!

「汐見稔幸×10名の次世代リーダー保育の未来を語る」

汐見稔幸 / 著　出版社：中央法規出版 2,640円(税込)



汐見稔幸先生と次世代リーダー10人が保育の未来をともに考える。過疎やインクルーシブ、環境など多様な社会課題に挑む、あの園の独自の仕組みとは？独自の実践を覗くことで明日の元気が湧いてくる。これからの時代に誇れる保育を目指す、すべての実践者必読の書。(中央法規 HP より)



「無敵化する若者たち」

金間大介 / 著　出版社：東洋経済新報社 1,760円(税込)

『先生、どうか皆の前でほめないで下さい』待望の続編！
あなたの部下やお子さん、こんな感じじゃないですか？
仕事にも出世にも興味がない
締切が来ても残業しない
権利主張が強い
自己評価が高い
アウトじゃないけど微妙に失礼
安定志向が強い
いつでも親が味方
先輩世代から大切にされる
無菌化された労働環境
飲み会でも守られる
自分がよければそれでいい
日本の衰退を気にしない将来展望がない日本でも十分幸せ……
前著で若者たちの「いい子症候群」をリアルに描き話題となった著者が、最新の知見とデータをもとに、再び若者心理の謎に迫ります！
(東洋経済新報社 HP より)

「ぼくたちは、あらそうために生きるのか?」

山極寿一 / 文　あべ弘士 / 絵　出版社：偕成社 1,540円(税込)



ヒトは、700万年前に誕生してから、たがいにわかりあいたいという、その気持ちを深めることで、この世界を生きのびてきた。そんな気持ちをだいじにすれば、きっとぼくらは、もっと平和な世界がつくれるはずだ。世界的な霊長類学者がこどもたちに贈る希望のメッセージ。(偕成社 HP より)



「井上ひさしの 子どもにつたえる日本国憲法」

井上ひさし / 著　いわさきちひろ / 絵　出版社：講談社 1,320円(税込)

「憲法の大切さを子どもたちに伝えたい」一作家・井上ひさしの新しい試み
<絵本>憲法のこころ 平和憲法の精神を表している「前文」と「第九条」を、井上ひさしが子どもにも読める言葉に「翻訳」。いわさきちひろの絵とともに、憲法の内容を、心で感じよう。(講談社 HP より)

沖私保連の動き

2026年

7月

３１日(金) 三役会

8月

１日(土) 県こども子育て会議
３日(月) 会計指導
４日(火) 青年会議企画研修
５日(水) 調査・情報部会 /福祉まつり
１３日(木) 理事会
１７日(月) 国民スポーツ大会準備委員
キリ短連絡会
１８日(火) 県保育協議会評議員会
２０日(木) 予対部署名カンパ発送作業
調査部長会議(京都)
２５日(火) 九州三団体緊急会議(オンライン)
２８日(金) 広報部会

9月

１日(火) 保育研究大会運営委員会 /三役会
３日(木) ～４日(金) 全私保連幹部セミナー(広島)
８日(火) 理事会
１２日(土) 第３８回保育研究大会
１８日(金) 指定管理者制度運用委員会(県センター)
２５日(金) 広報部会
２８日(月) 会計指導
２９日(火) 署名カンパ集計作業



10月

５日(月) 研修部会
８日(木) 事業部長会議(九州)
１３日(火) 三役会／理事会
２１日(水) 第２回予対会議・国会要請活動
２７日(火) 沖縄県福祉大会
２９日(木) 全私保連事業部長会議／会計指導
３０日(金) 広報部会



秋の風景


なおしてあげるね


どろんこきもちいい～


うさぎさん
はやくトンネルとおって～


フライパンギターでコンサート♪

熊本地震義援金のご報告(お礼)

熊本地震義援金につきまして、皆さまのご協力により¥418,045円の募金が集まりました。
お寄せいただいた募金は、10月1日に九州保育三団体へ送金いたしましたので、ご報告申し上げます。
なお、引き続き、第2次義援金につきましては、12月18日頃を目途に集計し、
全国保育三団体へ送金する予定です。
皆さまの温かいご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。
ありがとうございます。





編集後記



〇今号も、さまざまな話題や情報を盛り込んだ内容となりました。保育研究大会では、日々の保育実践の発表や井桁容子先生のお話を通して、改めて「保育士は本当にやりがいのある、素敵な仕事だな」と感じました。

今号からは、読んでくださる皆さんからご意見やご感想をお寄せいただく、新たな試みもスタートしました。

この私保連だよりが、皆さんにとって新たな情報や気づきを得るきっかけとなり、読んでいるうちに、思わず笑顔になったり、ほっと心が和んだりする時間をお届けできれば幸いです。

これからも、保育にまつわる課題や保育現場での話題、私保連の活動の様子をお届けしながら、皆さんに親しんでいただける私保連だよりを目指してまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。（理子）

〇校正作業をしながらの情報交換は毎回面白いです。今回は「我が園の逸品」で壁面アートが紹介されていますが、とても素敵な取り組みだなと思いました。（仲本）

〇今年度広報部として私保連だよりに関わらせて頂きます。部内では様々な情報が得られ、とても有意義な時間です。（オクマ）

〇中秋の名月の日に広報の集まりをして部長が作ってくれる美味しいケーキを堪能しました。盛り沢山の話題で当連盟の活動が皆さんに伝わるように広報部は頑張っています。ご意見・ご感想お待ちしています。（H・W）



RAWチョコタルト

原稿募集中!!

広報部では私保連だよりに掲載する原稿を随時募集しています。
〇保育士の声　〇我が園の逸品（人、行事、手作りおやつなど）〇子どものつぶやき 〇おすすめ本・絵本
〇季節毎の子ども達の素敵な写真 〇地域の話題・ニュース、保育の取り組み等
●送り先：私保連事務局【 hoiku@okishihoren.jp 】まで。

★ご意見・ご感想お待ちしています！！

広報部ではよりよい誌面づくりのため、「こんな記事がよかった」「こんなことを知りたい」など、
皆様の声を募集しています。右の QR コードから匿名でご回答いただけます。
（氏名・メールアドレス等は収集していません。）
皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。

幼い胸に美しい夢と感動を
劇団飛行船
https//hikosen.co.jp
©CIS·HIKOSEN
■〒564-0004 大阪府吹田市原町 4-8-3　Tel. 06-6364-3769

グリストラップの
お悩みはありませんか？
ニオイ　手間　コスト　環境　害虫
無料のお試し清掃を募集しております。
グリスト美人
グリストラップ清掃サービス
合同会社
沖縄科学教材社
FAX 098-927-6433
Email: ys.ehon1@gmail.com



公益社団法人
沖縄県シルバー人材センター連合
TEL：(098)871-0330

petaluna
okinawa aroma
アロマ香水作り
出張ワークショップ
仲間と楽しく香りを選びながらつながりを深め
自分を癒すアロマ体験です
○使用するアロマは上質な植物100%精油
○必要な材料費込み、手ぶらでOK
【メニュー例】
• アロマミスト100ml　1,760円/本
• アロマ香水15ml　3,500円/本
所要時間：1時間程度（※相談OK）
講師料：無料(保育園限定)※通常11,000円)
お問合せ ☎098-943-6550
平日：10時～16時　(担当：和泉)

保育園厨房機器・厨房用品全般
食器洗浄機・食器消毒保管庫等
株式会社盛厨房設備
〒901-1105 島尻郡南風原町字新川386番地
TEL：(098) 878-3182　FAX：(098) 874-2405

CoDMON コドモン
正規代理店
沖縄県私立保育園連盟
推奨企業
あなたの「いいね！」を目指して
OIS 沖縄情報システム株式会社
全国・沖縄県 導入実績 No.1
県内350施設以上 サポート実績
保育資格者による 専任サポート
ネットワーク環境整備 機器調達もお任せ下さい
098-897-3113
保育ICTの導入・運用等、お気軽にご相談ください

ひかりのくに株式会社 沖縄営業所
TEL.098-889-4339　FAX.098-889-1808
okinawa@hikarinokuni.co.jp
ひかりのくに
取扱：幼児の月刊絵本・教材・楽器・積木
園児服・什器・備品・園庭遊具　他

未来の子供たちへ
絵本が育てる子供の心
チャイルドブック
明日の園環境づくりを応援します
株式会社 チャイルド本社
沖縄営業所
〒901−0203 沖縄県豊見城市長堂 144−2
(TEL) 098−856−8630 ／ (FAX) 098−856−8635

RICOH
リコージャパン株式会社

オキジム

［全私保連推奨］各種団体保険制度

有限会社ゼンポ　公益社団法人 全国私立保育連盟　東京海上日動

ほいくのほけん・こどもえんのほけん Web加入可能
保育施設向け 4月1日～1年間（中途加入可能）

「園賠償責任保険」「園児団体傷害保険（学校契約団体傷害保険）」「職員団体傷害保険（総合生活保険）」など、保育施設における最大リスクを補償する1番の主力保険制度です。

やくいんのほけん Web加入可能
社会福祉法人向け 8月1日～1年間（中途加入可能）

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。

えんじのほけん Web加入可能
在園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

「園内外問わず24時間お子さまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一の場合の育英費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。

しょうがくせいのほけん Web加入可能
卒園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

24時間のおケガ等からお守りすることに加え、学校からの貸出タブレットを含め個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的な保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。

取扱代理店　有限会社ゼンポ
TEL：03-3865-3881
FAX：03-3865-2806

引受保険会社　東京海上日動火災保険株式会社
担当課支社：公務二部 文教公務室　TEL：03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険（レピュテーション費用特約条項付　費用・利益保険）・雇用関連賠償責任保険の概要・団体総合生活保険（傷害保険）の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険制度のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。

連絡先
公益社団法人全国私立保育連盟指定／東京海上日動火災保険株式会社代理店
有限会社ゼンポ　TEL 03-3865-3881
FAX 03-3865-2806
〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10全国保育会館4階



保育・子ども施設と保護者の連絡アプリ
きっずノート
全国私立保育連盟 推薦

連絡機能特化アプリ きっずノートの
ここがすごい！

POINT1 写真・動画配信 無制限

POINT2 シンプル費用設計 人数制限・オプション料金一切なし 月額5,500円 税込

POINT3 130カ国以上の言語対応 翻訳機能

きっずノートの詳細はここからチェック！
きっずノート

Instagram @kidsnote.jp_ict
YouTube @kidsnotejp

25TC-004500　2025年12月作成